
まるで・・・

ねいか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まるで・・・

【コード】

N5699Z

【作者名】

ねいか

【あらすじ】

篠崎まりはあと数か月で受験生になる。勉強するために図書館に通う冬休みの日々を憂鬱に感じていたが・・・。

「はあ…。」

階段に重いたため息が落ちる。ここは市立図書館の2階へと続く階段。あともう数ヶ月で受験生になる篠崎まりは自習室を利用しようと階段を上っていた。

大体、せつかくの冬休みだっていうのに、なんで毎日毎日勉強しなきゃなのよ…。

憂鬱な気分でこの階段を上ることは1週間前に冬休みに入ったまりの日課になっていた。

しょうがないと言えば、しょうがないんだけど…。希望校には入りたいし。まあ、ぐだくだしても意味ないし今日も1日頑張るか…。

少しだけやる気を出してまりは階段をコツコツと上りきり自習室に向かう。自習室の窓から中を見遣るとはもうすでにまばらに席が埋まっていた。

いつもの席まだ空いてるかなあ。

空調の効きがちょうど良く窓から外が見えるその席をまりは気に入っている。勉強の合間に移りゆく空や道行く人々を眺めるのがまりの習慣だった。

自習室のドアを開けその席を確かめる。どうやらその席の一つ隣に座っている大学生風の男の人が荷物置きにしているようだ。

あ、あの人がいつもいる人だ。今日は私の方が遅かったのかあ。じやあいつもの席の一つ前でいつか……。あそこちよつと空調が弱くて寒いけど仕方ないよね。

開いたドアの音で何人かがこちらを見る。まりのいつもの席を使っている男もこちらを見たので、まだそちらを見ていたまりはばかり目が合ったような気がして、落ち着かなくなつた。

隣の人あんなかつこよかつたっけ？いつも隣なんてちゃんと見ないしなあ。

なんだか急に焦ってきて、まりはさりげなく視線をずらし、再びその席をちらつと見た。するとその人はまりのいつもの席に置いていた荷物を片付け始めていた。

えっ。なんでそんなこと……。

まりはその行動を疑問に思いながらいつもの一つ前に座ろうと進んで行く。

すると片付け終わったその人がこちらを見たのがわかった。その人は隣の席を引きながら、あろうことにか、まりに向かってちよつと気まずそうに手招きをしてきた。

えっ。私にしてるの？

さっきの落ち着かなさと焦りを再び感じ、まりは恐る恐る自分を

指差しその人目で確認する。その人はそれを見て大きく頷き、困ったような笑みを浮かべる。そしてその表情のまま、口パクで良かったら、とまりに言った。

まりはどくどくと大き脈打ち始めた自分の心臓の音を気にしないようにしながら、足を進める。いつもの席への数メートルの道がこんなに長く感じたことはなかった。

まりが席まで来るとその人はどうぞ、と小さく言って、再び困ったように笑いながら椅子を指差した。

「あ、ありがとうございます！」

何、普通にお礼言ってるの、私！もつと何か、気の利いた事言いなさいよ！えっと、何か何かもつと・・・。

「いえ、あの、じゃあ、その、勉強頑張つて。」

まりの焦る思考はそんな歯切れの悪い言葉によって遮られた。

「え、あ、はい！頑張ります！」

まりの心臓はまだ、落ち着こうとしない。むしろ、一層早く動き始めていた。

まりはどこかふわふわした心もちで席についた。隣の席から本のページをめくる音が聞こえてくる。バッグから筆箱と教科書を出し、隣をちら、と見る。

目と、目が、合った。

また、高鳴る心臓。

これじゃ、まるで私・・・。

まりは思わずふっ、と小さく笑みをこぼした。

それもそれで悪くない。

まりは図書館に通うこれからの毎日が楽しみになるのを感じた。

まるで私、恋しちゃったみたい。

(後書き)

読んでくださってありがとうございます！

これが私の初めてのこの作品となります。

もしかしたら続編も書くかもしれませんが。

そのときはそちらも読んでいただけると嬉しいです。

これからもよろしくお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5699z/>

まるで・・・

2011年12月19日00時53分発行